

能代山本定住自立圏共生ビジョン

基本目標・重要業績評価指標(KPI)の達成状況

能代市 企画部 総合政策課

令和2年1月

目 次

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

①医療	1
【基本目標】病院群輪番制病院及び在宅当番医制の維持	
ア 地域医療体制の充実・強化	
【KPI】医療施設数（病院）	
イ 医療従事者の確保対策	
【KPI】医師数（病院）	
ウ 健康寿命の延伸対策	
【KPI】悪性新生物死亡率（人口10万人対）	
②福祉	2
【基本目標】合計特殊出生率	
ア 子育て支援の充実	
【KPI】出生数	
イ 高齢者福祉の充実	
【KPI】要介護（要支援）認定者数	
③教育	3
【基本目標】文化会館及び図書館の維持	
ア 学校教育の充実	
【KPI】圏域内居住による奨学金の返還支援件数	
イ 生涯学習機会の充実	
【KPI】文化会館利用者数	
【KPI】図書館利用者数	
④産業振興	4
【基本目標】事業所数（民営）	
【基本目標】従業者数（民営）	
ア 広域観光の推進	
【KPI】延べ宿泊者数	
イ 地域資源を活用した経済の活性化	
【KPI】行祭事・イベント入込客数	
ウ 企業誘致等による雇用機会の確保	
【KPI】新規高卒者の圏域内への就職割合	
エ 農林水産業の担い手育成	
【KPI】新規就農者数	

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

①地域公共交通	6
【基本目標】路線バス等の輸送人員	
大館能代空港総利用者数	
ア 地域公共交通の維持確保及び利用促進	
【KPI】路線バス等の輸送人員	
【KPI】大館能代空港総利用者数	
②道路等の交通インフラの整備	7
【基本目標】道路及び道路構造物の効率的な維持管理	
ア 道路等の維持管理の連携	
【KPI】道路及び道路構造物の効率的な維持管理	

③地域内外の住民との交流・移住促進	8
【基本目標】人口の社会増減数	
ア 移住定住の促進	
【KPI】市町への相談を経た移住者数	
イ 婚活支援事業の充実	
【KPI】婚姻数	
ウ 情報発信の強化	
【KPI】市町ホームページアクセス数	
④その他	9
ア 松枯れ被害の対策	
【KPI】民有林における松くい虫被害量	

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

①圏域内市町の職員等の交流	10
【基本目標】能代山本定住自立圏構想検討会の開催	
ア 圏域市町職員の交流・合同研修	
【KPI】定住自立圏研修等の実施	

基本目標・重要業績評価指標(KPI)の達成状況集計表

○平成30年度

基本目標	合計	順 調 (^_^)	横ばい (-_-)	不 調 (>_<)	実績不明	未確定
(1) 生活機能の強化に係る政策分野	17	7	2	3	3	2
(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	8	5	0	3	0	0
(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	2	2	0	0	0	0
合 計	27	14	2	6	3	2

○平成29年度

基本目標	合計	順 調 (^_^)	横ばい (-_-)	不 調 (>_<)	実績不明	未確定
(1) 生活機能の強化に係る政策分野	17	6	6	2	3	0
(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	8	5	1	2	0	0
(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	2	2	0	0	0	0
合 計	27	13	7	4	3	0

【評価区分等の説明】

- 順 調…目標値または当該年度の仮の目標値(以下「目標値等」という。)に達している。
- 横ばい…目標値等との間に隔たりはないものの、目標値等に達しておらず、基準値と大差ない。
- 不 調…目標値等に達しておらず、目標値等との間に隔りがある。
- 実績不明…国や県の統計等の調査年にあたっておらず、実績値がわからない。または、集計対象等が変更されたことにより、基準値と比較できる実績値がわからない。
- 未確定…国や県の統計等の公表時期が到来していないため、今回確定できない。

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

①医療

基本目標	(1)病院群輪番制病院及び在宅当番医制の維持							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	1	1	1	1			1	—
							推移の分析・考えられる要因 広域市町村圏組合に対する各市町の負担金により維持している。	達成状況 順調 (^-^)

※1＝維持

ア 地域医療体制の充実・強化

【具体的な事業】救急医療等支援事業

KPI	(2)医療施設数(病院)							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	7	7	7	7			7	施設
							推移の分析・考えられる要因 厚生医療センターでは「経営改善プロジェクト」を、JCHOでは職員のスキルアップ研修、医師会病院では一般事業主行動計画によるワークライフ・バランスの推進等に継続して取り組んでいる。	達成状況 順調 (^-^)

イ 医療従事者の確保対策

【具体的な事業】産科医等確保支援事業

KPI	(3)医師数(病院)							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	106	113	107				106	人
							推移の分析・考えられる要因 厚生労働省が公表する「医療施設(静態)調査」に基づく数値であるが、30年度の結果が公表されていない。	達成状況 未確定

ウ 健康寿命の延伸対策

【具体的な事業】健康づくり推進事業、がん対策事業

KPI	(4)悪性新生物死亡率(人口10万人対)							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
26年	500.6	548.0	525.2				450.0	人
							推移の分析・考えられる要因 秋田県衛生統計年鑑に基づく数値であるが、例年は3月に公表されている。	達成状況 未確定

②福祉

基本目標	(5)合計特殊出生率							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	1.36	1.28	1.38	1.39			1.60	—
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>藤里町で25～29歳及び30～34歳の年代での出生割合が増加したこと等からわずかに上昇したが、目標値から判断すると不調である。全体としては、30～34歳の年代での出生割合が最も高く、次いで25～29歳の年代であるが、30歳以降の年代の出生割合が増加しており、女性の転出増や、結婚に対する意識の変化等による未婚化・晩婚化が影響していると考えられる。</p>								不調 (>_<)

ア 子育て支援の充実

【具体的な事業】福祉医療事業、母子保健事業、病児保育事業

KPI	(6)出生数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	369	347	333	319			370	人
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>前年と比較し、藤里町では増加したが、全体としては減少傾向にある。女性の転出増や、結婚に対する意識の変化等により未婚化・晩婚化が進み、子どもを生む数に影響を及ぼしていると考えられる。</p>								不調 (>_<)

イ 高齢者福祉の充実

【具体的な事業】緊急通報システム事業、生活管理指導短期宿泊事業

KPI	(7)要介護(要支援)認定者数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	6,978	7,096	7,074	7,217			7,000	人
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>前年と比較し、能代市と三種町で増加しており、全体としても増となった。要支援・要介護ともに増加しており、高齢化の進行の影響による高齢者のみの世帯数の増加が要因と考えられる。</p>								不調 (>_<)

③教育

基本目標	(8)文化会館及び図書館の維持							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	1	1	1	1			1	—
<p>1 0 基準値 H28 H29 H30 R1 R2</p>				推移の分析・考えられる要因 指定管理者による適切な管理運営を行っている。民間活力を活用した取組により、利用者を安定して確保していく必要がある。			達成状況	順調 (^~^)

※1=維持

ア 学校教育の充実

【具体的な事業】ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業

KPI	(9)圏域内居住による奨学金の返還支援件数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	16	20	23	30			40	件
<p>50 40 30 20 10 16 20 23 30 40 基準値 H28 H29 H30 R1 R2</p>				推移の分析・考えられる要因 返還対象者、減免対象者ともに着実に増えてきており、制度の周知の効果が、徐々に出てきていると思われる。			達成状況	順調 (^~^)

イ 生涯学習機会の充実

【具体的な事業】文化会館・図書館管理運営事業、生涯学習推進事業

KPI	(10)文化会館利用者数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	104,525	102,915	94,469	106,312			105,000	人
<p>110,000 100,000 90,000 80,000 104,525 102,915 94,469 106,312 105,000 基準値 H28 H29 H30 R1 R2</p>				推移の分析・考えられる要因 前年に比べ利用者数が大幅に増加した。年度毎の利用者数増減には、29年度の大ホール音響照明改修工事(減)、30年度の秋田県民会館工事に伴う能代市開催催事の増(増)等の外的要因もあるが、指定管理等、運営の工夫により、引き続き利用者を確保していく必要がある。			達成状況	順調 (^~^)

KPI	(11)図書館利用者数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	114,806	109,719	110,233	114,362			115,000	人
<p>120,000 110,000 100,000 90,000 114,806 109,719 110,233 114,362 115,000 基準値 H28 H29 H30 R1 R2</p>				推移の分析・考えられる要因 31年2月の二ツ井図書館の開館に伴い、全体の利用者数は増加した。能代図書館の利用者数は微減となっているため、今後も適切な管理及び事業の工夫により、利用者を確保していく必要がある。			達成状況	横ばい (-)

④産業振興

基本目標		(12)事業所数(民営)						
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
26年	4,238	4,101					4,200	箇所
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>経済センサスに基づく数値であるが、次回の調査は令和元年度、公表は令和2年度となる。</p>								実績不明

基本目標		(13)従業者数(民営)						
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
26年	31,125	30,230					31,000	人
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>経済センサスに基づく数値であるが、次回の調査は令和元年度、公表は令和2年度となる。</p>								実績不明

ア 広域観光の推進

【具体的な事業】広域観光推進事業

KPI		(14)延べ宿泊者数						
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	182,925	151,046	182,925	198,816			186,000	人
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>前年に比べ、能代市と三種町で増加しており、全体でも増加している。能代火力発電所3号機建設に伴う宿泊需要が30年度をピークに減少することが見込まれるため、地域連携DMO等と連携し、引き続き観光誘客を図る必要がある。</p>								順調 (^-^-)

イ 地域資源を活用した経済の活性化

【具体的な事業】グリーン・ツーリズム推進事業、スポーツ文化合宿誘致事業、地域活性化イベント支援事業
特産品販路拡大事業

KPI		(15)行祭事・イベント入込客数						
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	881,944	945,367	894,704	693,438			900,000	人
								達成状況
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>秋田県観光統計に基づく数値であるが、基準年以降、集計地点数の減少や集計方法の見直しがあり、実績値が減少している。比較対照が同条件ではないため、評価が困難である。</p>								実績不明

ウ 企業誘致等による雇用機会の確保

【具体的な事業】企業誘致活動、地域雇用対策事業

KPI	(16)新規高卒者の圏域内への就職割合							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	36.9	39.4	44.1	44.4			40.0	%
							推移の分析・考えられる要因 県内の新規高卒者就職内定率が減少する中、管内の就職率は増加している。デュアルシステム・企業PR事業などにより地元就職の意識が高まったと考えられる。	達成状況 順調 (〽)

エ 農林水産業の担い手育成

【具体的な事業】就農支援事業、農業人材育成事業

KPI	(17)新規就農者数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	29	41	30	32			35	人
							推移の分析・考えられる要因 国の「農の雇用事業」や「次世代人材投資事業」の活用等により、基準年度の水準は維持しており、一定の成果が見られる。Uターンが約半数を占めるため、移住対策の中でも引き続き周知を図っていく。	達成状況 横ばい (-)

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

① 地域公共交通

基本目標	(18) 路線バス等の輸送人員							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	446,846	401,037	392,991	372,567			446,000	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							人口減少やモータリゼーションの進展により全体として減少している。減少傾向は今後も続くと考えられるため、住民ニーズに合った公共交通体系を検討していく必要がある。	不調 (>_<)

基本目標	(19) 大館能代空港総利用者数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	123,773	131,517	138,584	150,570			145,000	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							冬期間を含め年度を通じて個人でのビジネス利用や、団体での観光利用が堅調であったことなどに加え運賃助成事業の効果もあり、前年度を上回っている。	順調 (^_^)

ア 地域公共交通の維持確保及び利用促進

【具体的な事業】生活バス路線等維持対策事業、路線バス等利用促進事業

KPI	(18) 路線バス等の輸送人員(再掲)							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	446,846	401,037	392,991	372,567			446,000	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							人口減少やモータリゼーションの進展により全体として減少している。減少傾向は今後も続くと考えられるため、住民ニーズに合った公共交通体系を検討していく必要がある。	不調 (>_<)

【具体的な事業】大館能代空港利用促進事業

KPI	(19) 大館能代空港総利用者数(再掲)							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	123,773	131,517	138,584	150,570			145,000	人
							推移の分析・考えられる要因	達成状況
							冬期間を含め年度を通じて個人でのビジネス利用や、団体での観光利用が堅調であったことなどに加え運賃助成事業の効果もあり、前年度を上回っている。	順調 (^_^)

②道路等の交通インフラの整備

基本目標	(20)道路及び道路構造物の効率的な維持管理							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	1	1	1	1			1	—
		推移の分析・考えられる要因					達成状況	
		各市町が事業を実施している。除雪作業等については、能代市と三種町の境界の部分について、相応分の費用を三種町が負担し一括して能代市が作業を行う等、効率的に業務を行っている。					順調 (^-^)	

※1＝維持

ア 道路等の維持管理の連携

【具体的な事業】道路等の維持管理

KPI	(20)道路及び道路構造物の効率的な維持管理(再掲)							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	1	1	1	1			1	—
		推移の分析・考えられる要因					達成状況	
		各市町が事業を実施している。除雪作業等については、能代市と三種町の境界の部分について、相応分の費用を三種町が負担し一括して能代市が作業を行う等、効率的に業務を行っている。					順調 (^-^)	

※1＝維持

③地域内外の住民との交流・移住促進

基本目標	(21)人口の社会増減数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	△ 403	△ 427	△ 385	△ 500			△ 320	人
				推移の分析・考えられる要因 全市町で社会減となっており、藤里町を除く3市町での減少数は拡大している。(16)新規高卒者の圏域内への就職割合や、(22)市町への相談を経た移住者数の増加など、成果も徐々に表れている項目もあるが、引き続き、社会減の抑制に向けた取組を強化していく必要がある。				達成状況
								不調 (>△)

ア 移住定住の促進

【具体的な事業】空き家活用事業、移住定住促進事業、移住支援金

KPI	(22)市町への相談を経た移住者数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	41	38	45	60			50	人
				推移の分析・考えられる要因 前年度から増加しており、目標値を上回っている。各市町において、移住相談会への参加や支援制度の実施による成果が表れてきていると考えられる。				達成状況
								順調 (^-^)

イ 婚活支援事業の充実

【具体的な事業】出会い創出事業、あきた結婚支援センター会員登録助成事業

KPI	(23)婚姻数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
26年	239	244	210	194			250	件
				推移の分析・考えられる要因 三種町を除く他の市町では減少している。女性の転出増や、結婚に対する意識の変化等により、未婚化・晩婚化が進んでいるほか、出会いの機会が少ないことも影響していると考えられるため、引き続き各市町において出会い創出支援に向けた連携を強化する必要がある。				達成状況
								不調 (>△)

ウ 情報発信の強化

【具体的な事業】圏域情報発信事業

KPI	(24)市町ホームページアクセス数							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	—	945,060	1,045,945	1,192,065			1,000,000	件
				推移の分析・考えられる要因 圏域の全市町で増加しており、目標値を大きく上回っている。各市町のホームページの内容の充実等により、着実にアクセス数が増加している。				達成状況
								順調 (^-^)

④その他

ア 松枯れ被害の対策

【具体的な事業】松くい虫対策事業

KPI	(25) 民有林における松くい虫被害量							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年度	11,360	12,579	7,585	4,972			10,000	m ³
							<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>前年度から大幅に減少しており、薬剤散布と伐倒駆除の併用による効果と考えられるが、県内では依然として高い水準となっており、引き続き、抜本的な対策を国や県に働きかけていく。</p>	<p>達成状況</p> <p>順調 (^-^)</p>

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

① 圏域内市町の職員等の交流

基本目標	(26) 能代山本定住自立圏構想検討会の開催							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	1	1	1	1			1	—
							達成状況	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>1回以上の開催で「1」としている。 30年度は検討会を3回、分科会を2回実施し、新たな連携事業等の検討を行っている。</p>							順調 (^-^)	

※1=維持

ア 圏域市町職員の交流・合同研修

【具体的な事業】広域連携職員研修

KPI	(27) 定住自立圏研修等の実施							
基準年(度)	基準値	H28	H29	H30	R1	R2	R2目標値	単位
27年	0	1	1	1			1	件
							達成状況	
<p>推移の分析・考えられる要因</p> <p>検討会メンバーによる先進地視察として、滋賀県の湖東定住自立圏を訪問し、地域公共交通の取組等を研究した。</p>							順調 (^-^)	